

2016年1月5日

イビデン株式会社 竹中社長の年頭挨拶

2016年1月5日午前8時00分より、当社の新年互例会が実施され、竹中社長が年頭の挨拶を行いました。今年新しい試みとしてテレビ会議システムを利用し、国内事業場および海外拠点を同時に中継して、実施されました。要旨は以下の通りです。

あけましておめでとうございます。

昨年の世界経済は、中国をはじめとする新興国の減速が顕著になり、原油・原材料価格が低迷する中、ロシアをはじめとする資源国の経済も悪化してきています。また、欧州は、ギリシャ問題に加え、増え続ける中東難民の対処に苦慮しています。唯一、米国だけが回復を続けていますが、世界的に領土に起因するリスクが高まる中で、まだ当分、明日は何が起きるか分からない状況が続くと思われ、安全に対するリスクマネジメントが一層重要になっています。

当社の現状に目を向けますと、昨年の上期まで会社の業績をけん引した電子部門は、下期に入り市場環境が大きく変化しています。お客様への新たな提案や、新市場開発を積極的に行うことによって、変化を乗り越えていきたいと思えます。

当社は、現在、中期経営計画「Challenge IBI-TECHNO 105 Plan」に取り組んでいます。中期経営計画の目標を一言で表現すれば「人財育成」です。「企業は人なり」と言いますが、人づくりが経営計画の達成に直結しています。社員全員が「IBIDEN WAY」の精神に基づき、「現地・現物・自掛り」で改善に取り組むことによって、達成感を味わいながら、スキルを向上させる。また仲間との「チームワーク」も良くなり、更に高い目標に挑戦する。当社のロゴにある、正のスパイラルアップを目指しています。この「IBIDEN WAY」の考え方に加えて、今年さらには「自工程完結」活動を、間接部門を含めた全部門で取り組むことで、より多くの成果が出るようにしたいと思います。

当社は100年の歴史の中で何度も大きな変化を経験してきました。その変化を乗り越えてきた先輩方の知恵を集めたのが、「IBIDEN WAY」です。「現地・現物・自掛り」を基本に、「自工程完結」活動で品質を真ん中において、徹底的に競争力を作り上げていきます。この活動を全社で愚直に進めることで、新たなチャンスにつなげていきたいと思えます。

今年もまた、皆さんが、健康と安全に留意して、元気に活躍されますことを祈念して、年頭のご挨拶といたします。

以上